



市長と

車座トーク

第53回 新市学区（概要）



開催日時 2018年（平成30年）1月30日（火）

19:30～20:30

開催場所 新市老人福祉センター

参加者数 10人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



<車座トークでの主なご意見>

- ・国道486号線の拡幅工事進捗状況、整備スケジュール及び新市交番の移転先について教えて欲しい。
- ・新市消防団の器具庫移転後の跡地を学区の防災倉庫として利用させて欲しい。
- ・2003年まで火災発生時等に新市支所のサイレンを活用していたが、今は使用していない。今後の災害対策等で再活用出来ないか。
- ・学区まちづくり推進委員会は、24団体52名で活動している。小学校の総合学習の中で子どもたちと一緒に今後のまちづくりについて勉強出来ればと考えているので、配慮と検討をお願いしたい。
- ・福山城築城400年を誇りに思うが、相方城についても考えていただきたい。また、史跡、観光、文化等に活用したいと考えているのでバスの駐車場、トイレを整備して欲しい。
- ・芦田川右岸線にガードレールを付けてもらいたい。芦品橋より府中方向に約100mの場所で車の転落事故が多発している。市と国交省で話が進んでいると聞いているが、後押しをして欲しい。
- ・公共下水工事の整備が進んでいるが、複数の堤防があるため、整備が困難な地域がある。そこにも下

水道を整備してもらいたい。

- ・新市小学校は児童の数が減っている。市では小学校区を原則通学区域にすると聞いているが、新市学区内にある「あしな台」の多くの小学生が戸手小学校に通っている。市が何か行政指導をしたのか。また今後、行政指導をどうするのか聞きたい。
- ・尾道市では、2019年には市立学校全てにエアコンが設置されると聞いている。福山市では、エアコン設置についてどのように考えているか。設置の予定があれば聞かせて欲しい。
- ・今の子どもたちには、洋式トイレでしか用を足せない子どもが多いが、市はどのように考えているか。
- ・上の子が4月から年少で保育所の申込みをした。二人目の出産予定が4月初めなので、しばらくは預かってもらえるとしても一定期間が過ぎたら退所させられるのではという心配がある。新市保育所は人気なので、定員増のため、旧校舎（現在倉庫）の更新や増設が出来ないか。
- ・駅家・新市地区には幼稚園、認定こども園が少ない。今回、保育所を希望しているが近くに幼稚園が少なく選択肢がない。今後、幼稚園を設置するときに考慮していただきたい。
- ・会費制で入所前の子どもと母親とが集まってイベントをしたり、おもちゃで遊んだりする「ひよこサークル」で活動している。無料化してメンバーを増やしたいが、市から支援してもらえないか。
- ・更生保護女性会では、子育て支援を柱として活動している。子どもの心を豊かにするためには本との出会いが大事だと思うが、学校図書室の実態はびっくりするぐらい貧弱である。図書室と新市図書館の充実をして欲しい。
- ・相方地区の土木常設員の増員をお願いしたが、市からは「増員は出来ない。配置換えとかで対処して欲しい」との回答だった。地域の事情を説明し、増員への要件を聞いたが適切な回答をもらえなかった。再度、増員について考えて欲しい。
- ・以前は新市支所に建設産業課があったが、今は出張所となり、何年か後にはなくなってしまうのではと危惧している。地域の様々な声が届きにくくなるので継続をお願いしたい。
- ・芦田川、神谷川の雑木、雑草の伐採と撤去、護岸工事の強化をして欲しい。
- ・新市本通り商店街は、空き店舗、空き家が増えてきた。活性化のための多様なアイデアを出そうと思うが、これを実現する手法を相談させて欲しい。助成金についても考えていただきたい。
- ・老人クラブでは、社会保険の負担軽減のため、会費を取って健康づくり、生きがいづくりをしている。一方で、老人クラブに入っていない高齢者や独居老人、空き家も増え、更に子どもの数も減ってきた。自分たちで出来る所は努力しないといけないが、市としての対策があれば教えて欲しい。
- ・産業が衰退して若者が残らない現状がある。新市では特にそう思う。高齢者が増えて子どもが減少するという人口問題はよく聞かすが、新市学区に対してどのような対策をしていくのか教えて欲しい。
- ・近年様々な団体が高齢化の問題を抱えており、消防団員も40、50代が増えてきており、対策を考えていく必要がある。何事も警防課と相談をしながらやってきているが、これまで以上に支援や理解をいただく中で活性化につなげていって欲しい。
- ・神谷川鉄橋のガード下東西が、ラッシュ時には大変な渋滞となる。この渋滞解消のため、神谷川橋の東橋詰、神谷川左岸から上流へ二車線の道路新設をして欲しい。
- ・まち興し、健康づくりとして新市学区内の史跡・名所等に案内板を設置するとともに解説冊子も作っている。今後、福山市のイベント等で利活用出来ないか教えて欲しい。
- ・学区のキャラクター「しんいちろう」を誕生させたので今後、ローラちゃん同様に活用して欲しい。

<市長のまとめ>

- ・国道486号新市工区の拡幅工事は、今年から用地買収に入る予定。今の段階で工事がいつ始まるのか見通しはつかないが、遅れているということではない。新市交番の移転先についても工事の進捗に応じて決まるので、現時点では移転場所や時期については県から聞いていない。
- ・消防団器具庫跡の活用については、どんな使い方を希望されているかを伺いながら判断をしたい。
- ・災害時の広報は、メール、FAX、テレビ、ラジオ、車両による広報等、様々なやり方を同時に使う取組をしている。何か一つの手段に頼ると、たまたまそれを聞けなかった人が危険になる可能性がある。防災の周知のあり方、費用対効果を考えて取り組んでおり、サイレンの活用は考えていない。
- ・3年生から総合的学習をしている。将来のまちづくりへの意欲を高め、児童が地域と一緒に未来を展望し、担える子どもに育てて欲しいとの思いから、この総合学習を充実していきたい。
- ・相方城については、来年、水野勝成公が福山に来て400年の節目を迎え、新市、神辺、鞆を主舞台として地元でも取組を進めていただいている。歴史・文化コースの中に相方城も含まれる。駐車場やトイレの整備をどう行えばいいのか、必要かどうかを含めて現地を見せていただいで判断したい。
- ・ガードレールについては、国土交通省とで検討が行われている。堤防を傷つけない方法で、どういうものが出来るかを検討していく。
- ・市街化区域内にある相方地区の下水道工事について、防災の観点から堤防に穴を開けることを国土交通省は認めないので、工法について考える必要がある。少し時間はかかるが、着実に進めていきたい。
- ・通学区域については、学区内の学校に通うことが原則。一定の事情を考慮し合理的で安全に通学出来るように学校の選択が出来る。「あしな台」では、今までと同様に、今後も戸手小に通うことが出来る。行政指導というよりは、地元の皆さんで新しく学校に入る家庭にアドバイスしていただければと思う。
- ・公立学校へのエアコン整備率は、全国平均が32%。本市は3.6%。本市では命に関わる耐震工事、そして洋式トイレの整備を優先している。また、中学校給食完全実施など本市独自の取組もあり、総合的に教育環境の問題を受け止めていただきたい。全ての学校にエアコンを設置すれば50億円位必要となり、市民理解を得ながら、進めるかどうかとも合わせて考えていかないといけない。
- ・国は全てのトイレを洋式化するとまでは考えていない。適正な数のトイレが整備されるよう国の基準がある。新市小・中学校はこの基準は満たしている。
- ・国の基準に基づくと、産前2か月、産後6か月が保育所で預かれる期間。それ以後の保育所での受け入れは難しいかもしれないが、是非ネウボラ相談員と話をしたい。様々な可能性を含めて相談させてもらいたい。また、公立保育所では一時預かりの制度があり、1か月に15日位は活用出来る。
- ・保育所と幼稚園の機能を併せ持つこども園を増やしていく。新市では、ひなぎく保育園が4月1日からこども園になり、10人の幼稚園児を新たに受け入れることになる。
- ・子育てサークルは地域の母親が集まって悩みを共有するという意味で重要。市内では、会費制でサークルの運営をやっていただいている。地域には補助金が出ており、地域で子育てを支援しようという地域の合意があれば助成が出来るかもしれない。地元で工夫をして欲しい。
- ・学校図書館の整備については、校長がどれ位の予算を振り向けるかを決めるので、学校によってまちまちだ。今日の声は、校長にはしっかり伝えておく。
- ・子どもの教育に本がとても良い影響を与えることはわかっている。どういう形で更に充実出来るかは、引き続き考えさせてもらいたい。

- ・土木常設員の増員については、行政の納得のいく説明が出来ていないとの思いがする。やっていただける人があれば増やせば良いとの印象も受けた。増員出来ないのであれば、しっかりと説明をするし、説明出来ないのであれば増やすという選択肢も考えてみたい。
- ・今後税収は減る一方となり、市税収入のほとんどが介護や福祉、医療でなくなる。全ての公共施設は維持出来なくなる。サービス水準を落とさず、地域の声をしっかり拾えるやり方をしながら公共施設を再編、統廃合するのは時代の流れ。新市の建設産業課出張所を今すぐ無くすことはないが、実情に応じて再編していくというやり方で進めていきたい。
- ・芦田川、神谷川の堆積土砂については、国・県からは今の段階では撤去の必要性はないと聞いている。雑木について芦田川では、放置出来ない所を順次、撤去している。神谷川は、地元要望を受けながら撤去していくと聞いている。個別に整備の必要な所があれば、北部建設産業課新市出張所で話を伺って、県に伝えていきたいと思う。
- ・商店街の活性化については、関係者と地域の人が集まって、何がしたいか、何を望むか、どんな商店街に甦って欲しいのかの議論をいただきたい。相談があれば、職員も一緒に議論させていただく。
- ・高齢化対策としては、健康寿命を延ばすため、いきいき100歳体操や居場所づくりに取り組む。新市学区では、いずれも1か所での実施にとどまっており、至る所にあってもよいと思っている。制度の説明や相談に乗るので担当課には伝えておく。
- ・若者の流出については、市内の至る所で雇用の場が確保されつつある。そういう所を、市として情報提供出来る体制を整えて若者が市外に流出しないように取り組む。
- ・新市に住み続けてもらうためには、住みよいまちづくりが重要。子育てが充実し、みんなでお祭りの出来る楽しい地域であれば、これも住みよいまちづくりとなる。素盞鳴神社のけんか神輿や一宮さんの祭り、相方城という歴史遺産もある。これらを小さい頃から地元の誇りとして認識していけば、新市で子育てをしていく楽しみも見えて来るかもしれない。
- ・若者の流出対策は大きな課題であり、市としても議論を重ねていく。この取組をヒントにして新市バージョンの流出防止策を皆さんで考えていただきたいと思う。
- ・消防団員の高齢化では、若い男性が参加出来る雰囲気作りをして欲しい。企業では、団員になった従業員が、すぐ現場に駆け付けられるような配慮、理解の出来る経営者を増やしていければと思う。
- ・神谷川左岸の道路新設は合併建設計画にあるが、全体計画が休止している。これが渋滞を引き起こしている原因の一つ。出来るだけ、市民生活の利便性向上につながるような取組を進めていきたい。
- ・ウォーキングマップの利活用については、来年の入封400年の地域イベントの一つに組み込んでもいい。お城だけで事業をしなくてもいいし、ゆるきゃら「しんいちろうくん」も一緒に参加してもらい、新市の皆さんが心一つにするような盛り上がりにもなる。重要な入封400年の事業となる。また、ばら祭だけではなく、様々なお祭りもあり、是非参加してもらいたい。

<地域からのあいさつ>

公務でご多忙の中、新市までわざわざお越しいただき、我々の盛り沢山のお願いや意見を聞いていただきました。本日は、市長さんと様々な話を直接交換出来て、共有出来たことは学区としても大きな喜びとなりました。町内会連合会、まちづくり推進委員会としても、今日のトークを第一歩として頑張っていけるような温かい気持ちにもなりました。本日は大変ありがとうございました。